

# 令和6年度 九州ブロック研究集会



都城市立図書館

## 建築士の 集い みやざき 大会

みやざき木好風土  
～後世に伝える宮崎の魅力～

# 2024年6月22日(土)

## 都城市総合文化ホールMJ 中ホール

宮崎県都城市北原町1106番地100

受付 12:30～ 研究集会 13:00～18:00

都城市総合文化ホール



道の駅 都城NIQLL



都城島津邸



主催：公益社団法人 日本建築士会連合会九州ブロック会  
主管：一般社団法人 宮崎県建築士会

E-mail: [info@miyazaki-aba.or.jp](mailto:info@miyazaki-aba.or.jp)

HP: <http://www.miyazaki-aba.or.jp/>

【大会事務局】 一般社団法人 宮崎県建築士会  
宮崎県宮崎市別府町2-12 宮崎建友会館3階

☎ 0985-27-3425

# 令和6年度 九州ブロック研究集会「建築士の集い」みやざき大会

- ◆ 開催日時 令和6年 6月 22日 (土曜日)  
研究集会 : 13:00~18:00 (受付:12:30~)  
意見交換会: 19:00~21:00 (受付:18:30~)
  
- ◆ 会場 研究集会 : 都城市総合文化ホール MJ 中ホール  
〒885-0024 宮崎県都城市北原町 1106 番地 100 Tel:0986-23-7140  
意見交換会 : まちなか広場 (Mall mall)、テラスタレストラン  
〒885-0071 宮崎県都城市中町 17-19 Tel:0986-21-6121
  
- ◆ 開会式 (13:00~13:15=15分) 都城市総合文化ホールMJ 中ホール
  
- ◆ 分科会 (13:30~15:30=120分) 開会式会場・各施設へバス移動  
新施設見学コース 1,2 (バス移動)  
まちなか新施設コース (徒歩+バス移動)  
歴史コース 1,2,3 (徒歩+バス移動)  
木材技術見学コース (徒歩+バス移動)  
気候風土適応住宅コース  
木育体験コース (くむんだー)
  
- ◆ 全体会 (15:45~17:40=115分)  
<第1部> 地域実践活動発表 (15:45~17:00=75分)  
<第2部> 気候風土適応住宅の各県の状況について (17:10~17:40=30分)
  
- ◆ 閉会式 (17:45~17:55=10分)
  
- ◆ 参加費 大会参加費 : 2,000円 (子ども : 無料)  
バス移動分科会参加費 1,000円、子ども 500円  
木育体験コース (くむんだー) 参加費 : 子供 500円 (同伴者無料)  
意見交換会費 : 6,500円 (子ども 1,000円)
  
- ◆ 申込方法 各県建築士会にて取りまとめのうえ大会事務局までお申し込みください。5月8日(水)締切
  
- ◆ 大会事務局 一般社団法人 宮崎県建築士会  
〒880-0802 宮崎県宮崎市別府町 2-12 宮崎建友会館3F  
Tel : 0985-27-3425 E-mail:info@miyazaki-aba.or.jp



ホームページ

令和6年度 九州ブロック研究集会「建築士の集い」みやざき大会 参加申込書

【 〇〇県建築士会 〇〇支部】

記入欄が不足する場合は追加してください。

No.	氏名 (子どもの名前)	年齢	性別	勤務先	当日連絡先 (携帯電話等)	分科会希望			意見 交換会	駐車 場利用	支部名 (地区名)	参加 回数	CPD	宿都 泊城 の市 方内	備考 (宿泊施設 (スタッフ) など)
						第1	第2	第3							
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
例	宮崎 太郎	30	男	〇〇建設	000-0000-0000	①	⑤	⑥	○	○	宮崎	10	41000000000	○	〇〇旅館

●必要事項をご記入のうえ各県所属建築士会へお申し込みください。(県本部受付締切 4月30日(火)必着)

●大会参加費等はあらかじめ各支部で徴収し、県本部あてに5月10日(金)までにお振り込みください。

大会参加費	バス移動分科会参加費	木育体験コース参加費	意見交換会費
2,000円(子ども無料)	+1,000円(子ども+500円)	子ども+500円(同伴者無料)	6,500円(子ども1,000円)

◎大会事務局への締切日(5月10日(金))以降は、キャンセルによる返金ができない場合があります。

●申込者の記載事項は、参加者管理にのみ利用させていただきます。(大会冊子等には掲載されません。)

●分科会希望の欄については下表の中から、第1~3希望のコース番号をご記入下さい。

分科会 見学・ 体験 コース	①【新施設見学コース1】	山之口運動公園陸上競技場	バス移動
	②【新施設見学コース2】	スノーピーク都城キャンプフィールド	
	③【まちなか新施設コース】	Malimall	徒歩+ バス移動
	④【歴史コース1】	高城旧後藤家商屋交流資料館 → 高城郷土資料館	バス移動
	⑤【歴史コース2】	都城島津邸	徒歩+ バス移動
	⑥【歴史コース3】	攝護寺	
	⑦【木材技術見学コース】	宮崎県木材利用技術センター	
	⑧【気候風土適応住宅コース】	気候風土適応住宅報告会	会場内
	⑨【木育体験コース】	くむんだー(子ども向け) 推奨年齢3歳以上、8歳以下は保護者同伴	
	※各コース詳細は別紙パンフレット参照。		

●意見交換会に参加される方は「○」をご記入ください。

●駐車場確保のため、自家用車でご来場される方は駐車場利用の欄に「○」をご記入ください。(運転者のみ)

また、会場周辺駐車場台数に限りがありますので、できる限り乗合にてご来場ください。

会場周辺駐車場については後日ご案内いたします。乗車・降車含め、長時間の路肩使用はお控え下さい。

●参加回数の欄については、わかる範囲で参加回数をご記入ください。

初参加の方は「1」、10回以上参加の方は「10」とご記入ください。

●CPD単位は当日の出席結果をもとに付与いたします。

●宿泊される方は各自でご予約をお願いいたします。宿泊の欄は、コンベンション補助金利用に必要な項目のため、都城市に宿泊される方は「○」をご記入ください。※後日、宿泊先の名称をお聞きます。

又、補助金の活用を検討していますので差支えなければ都城市内に宿泊していただきますようお願いいたします。

※申し込み時点で宿泊先が決まっている方は「備考」欄にご記入ください。

●会員増強活動費(「建築士の集い」への参加)に係る助成について

学生又は非会員(資格保有者・未資格者・建築業界の方)を対象に、宿泊費+交通費又は参加費の一部について

九州ブロック会から助成があります。ただし、助成額の確定と支給は年度末頃になりますのでご了解ください。

## 【分科会 ①】 新施設見学コース 1

- 会場 山之口運動公園陸上競技場
- 内容 「スポーツランドみやぎ」の新たな拠点として新宮崎県陸上競技場や補助競技場、多目的広場などの整備を都城市と宮崎県の合同で行っています。令和 9 年度開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の会場として活用され、総合開会式や陸上競技、総合閉会式が開催される予定です。また、高台にある立地と広いスペースを活かし、南海トラフ地震などの大規模災害時の広域的な防災拠点としても活用される予定です。この新宮崎県陸上競技場建設工事中の現場を見学します。見学の際は、ヘルメットの準備をお願いいたします。



↑新宮崎県陸上競技場 イメージパース

## 【分科会 ②】 新施設見学コース 2

- 会場 都城市交流拠点施設 関之尾公園（スノーピーク都城キャンプフィールド）
- 内容 2024 年度にリニューアルオープンする都城市交流拠点施設です。宮崎県内初となる株式会社スノーピークの直営キャンプフィールドや隈研吾氏と共同開発したモバイルハウス「住箱-JYUBAKO」、公園の眺望を活かしたコテージ等の施設を巡ります。



(全体完成予想図)



(コテージ)

### 【分科会 ③】 まちなか新施設コース

■会場 Mall Mall

■内容 2011年に閉店した商業施設を2017年に市立図書館へコンバージョンしました。中央の高さ18mのアトリウムから柔らかい太陽光が差し込み、余裕のある空間構成が開放的な雰囲気を演出し、新たな図書館の在り方を提案しています。JDP グッドデザイン賞、木材利用優良施設コンクール審査員特別賞などを受賞しており、都城市の新たなランドマークとなりつつあります。



(外観)



(内観)

### 【分科会 ④】 歴史コース1

■会場① 高城旧後藤家商家交流資料館

■内容 「日向の山林王」と呼ばれた後藤伊左衛門の三男の伊助とその息子である五兵衛が明治33年(1900年)頃に分家として建てた住宅です。間取りや構造など、明治時代の商家造りをそのまま残し、歴史的、建築史的にも高い評価を受け、2007年国の登録有形文化財にも指定されました。

■会場② 高城郷土資料館(月山日和城址 がっさんひわじょうし)

■内容 南北朝時代の武将である肝付兼重(きもつきかねしげ)により築城され廃城となるまでの280年間に城主が度々変わり、都城盆地をめぐる争いの舞台となった城跡です。都城島津家の8代当主北郷忠相(ほんごうただすけ)が晩年に居城としたことで知られます。長い坂道を進み現われる資料館には高城地区の歴史・文化を紹介する資料が展示され、展望室からは都城盆地を一望できます。



高城旧後藤家商家交流資料館



高城郷土資料館

## [分科会 ⑤] 歴史コース2

■会場 都城島津邸

■内容 都城島津家が明治12年以降に住んだ邸宅です。国登録有形文化財に登録されている「御門」「本宅」「石蔵」等の見学説明のほか、都城伝承館にて都城島津の歴史に触れていただきます。

また、本宅は昭和48年に昭和天皇皇后両陛下が宿泊された際の調度品等がそのまま保存されており、当時の状況を見学できます。



(本宅)



(御門)

## [分科会 ⑥] 歴史コース3

■会場 攝護寺(ショウゴジ)

■内容 浄土真宗本願寺派のお寺で、通称「西の寺」として親しまれています。境内地は旧島津藩の米倉屋敷のあったところで、その通用門は昔の面影を今も残しています。明治三十年に七堂伽藍が完工しましたが、昭和二十年八月六日大東亜戦で惜しくも戦火にあい山門鐘楼だけを残して全焼しました。

本堂は昭和三十一年に落成したが建立より六十年を経て、耐震診断では震度5程度で倒壊の恐れがあるということで、平成二十九年に本堂(明治三十年建立)を再現すべきとなり令和二年十一月に完成しました。



(本堂)



(本堂正面)

## 【分科会 ⑦】 木材時術見学コース

■会場 宮崎県木材利用技術センター

■内容 宮崎県木材利用技術センターは県の試験研究機関です。収穫期を迎えた森林資源を有効に活用するため、スギを中心とした県産材の効率的利用を促進し、県内の木材関連産業の加工技術の向上、新製品の開発等を支援しています。

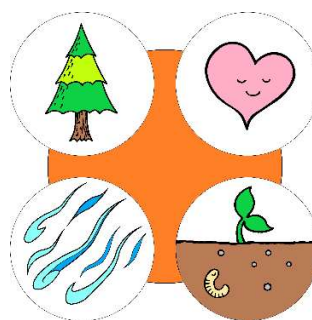
センターの研究や取組を紹介するポスターや実物展示のほか、構造の異なる5つの建物を見学していただきます。



## 【分科会 ⑧】 気候風土適応住宅コース

■会場 都城市総合文化ホールMJ 中ホール（移動なし）

■内容 建築物のエネルギー消費性能基準等を定める省令 附則第2条において、所管行政庁がその地方の自然的社会的条件の特殊性により必要と認めて定めた条件に適合する住宅（気候風土適応住宅）については、同令第1条第1項第2号イの外皮基準への適用が免除される旨が定められています。この規定に基づき独自に定めている気候風土適応住宅の基準や事例について、九州各県の代表者から報告いただき、それぞれの地域らしい住まいづくりについて意見交換を行います。



## 【分科会 ⑨】 木育体験コース

■会場 都城市総合文化ホールM J 内

■内容 遊ぶ×学ぶ＝考える

「くむんだー」は、国産材で出来た柱や横材を組んで楽しむ木育玩具です。日本の伝統木造建築のように、柱に空けた穴に、貫（ぬき）と呼ばれる横材を差し込み、クサビを打ち込んで固定していきます。いくつも木を組み合わせて大きくしていくと全体はとても丈夫になります。

子どもたちが協力し工夫し合うことで、様々な形や大きさのジャングルジムをつくることが可能で、協力しながら組み立てる過程、解く（ほどく）過程を経験することで共同作業の楽しさを知り、伝統木造建築に親しんでもらいます。



完成時のくむんだー

